

政策	5章 政策2	農業・水産業を活性化させる	
主管課	農政課	関係課	農村整備課、農業委員会事務局、商工水産課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
農家、漁家、水産物流通・加工業者	亜熱帯島嶼地域の環境をいかした農業・水産業は、本市の基盤となる産業です。 農業においては、地域の特色をいかし、また持続可能性や環境との調和を図りつつ、生産基盤の充実、新技術の活用、競争力のあ る品目の導入等の取り組みによって、生産力向上や安定的な収益の確保を図ります。 また、水産業においては、糸満北地区において新市場の運営が始まることから積極的な連携と活用を図ります。加えて、糸満市水 産業振興センターの整備にむけて取り組みます。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	農家戸数	戸		見込値								
				実績値	-	-	-	659	659	659	659	
②	漁業者数	人		見込値					112	113	114	115
				実績値	107	105	105	111	116	118		
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	土地改良の整備率	%	目標値					69	69	69	69
				見込値					69	69	69	71
				実績値	62	63	63	69	69	69		
B	総合計画 (総合戦略)	肉用子牛生産頭数	頭	目標値					860	860	860	860
				見込値					860	880	880	880
				実績値	847	896	804	857	999	996		
C	総合計画 (総合戦略)	漁獲量（属地）	t/年	目標値					2,400	2,800	3,200	3,600
				見込値					2,900	3,100	3,200	3,600
				実績値	2,164	2,049	1,992	2,000	2,154	2,561		
D	参考	観光農園来場者数	人	目標値					55,000	65,000	70,000	75,000
				見込値					55,000	71,000	30,000	75,000
				実績値	62,044	64,454	32,982	45,878	74,000	49,849		
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト 施策に関する事務 事業の合計額		事業費	千円					480,440	546,753	496,407	0	0
		国・県支出金	千円					229,308	281,770	244,653		
		地方債	千円					34,100	56,952	32,300		
		その他	千円					31,711	39,046	63,674		
		一般財源	千円					185,321	168,985	155,780		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	土地改良の整備率
	設定理由	農業生産基盤整備の観点から、土地改良の整備率(土地改良事業の事業対象面積に対する事業実施面積(事業採択地区含む)の割合)を把握する。(農村整備課資料)
	目標値	総合計画策定時点において、事業採択を予定していた地区を考慮して目標値とした。
	見込値	令和7年度に新たに1地区の事業採択を目指す。
B	総合計画（総合戦略）	肉用子牛生産頭数
	設定理由	畜産農家の生産力向上に向けて、拠点産地となっている肉用子牛生産頭数を把握する。(農政課資料)
	目標値	沖縄県家畜家さん等飼養状況調査から現状頭数で推移し、令和7年度には肉用牛農家戸数の増加から860頭を目標値とした。
	見込値	令和4年度に新規就農者が畜舎を新設したことから、目標値以上の増加が継続すると見込む。
C	総合計画（総合戦略）	漁獲量（属地）
	設定理由	漁家の経営安定の観点から、糸満漁港に水揚げされる漁獲量を把握する。(商工水産課資料)
	目標値	沖縄県の特定漁港漁場整備事業計画において、令和8年度に4,702tの目標値を掲げていることから、糸満市の令和12年度の目標値を4,700tとした。この考え方から、令和7年度を中間の予測として3,600tを設定した。
	見込値	糸満漁港の新市場の令和4年度開設に伴い、2,000tから増加傾向が続くと見込む。
D	参考	観光農園来場者数
	設定理由	農家の安定的な収益確保に向けた観点から、観光農園来場者数を把握する。(農政課資料)
	目標値	過去5年間の最多来場者数(平成29年度65,061人)を踏まえ、令和7年度の目標値を設定した。
	見込値	指定管理者が開催するイベントのほか、他団体のイベント開催などが見込まれることから、来場者の増加を見込む。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）	(6) 関係者の意見・要望
<div>・耕作放棄地について、導入したタブレットを活用し利用状況調査及び利用意向調査により把握する。</div> <div>・令和7年度から、観光農園の指定管理者が変更となる。</div> <div>・令和6年度において、沖縄県漁港漁場課を事務局とする「糸満漁港の海業振興に向けた協議会」が設立され、イマイユ市場を核とする海業振興の施策について検討されている。</div>	<div>・市北地区への灌漑整備の要望が多い。</div> <div>・農業者等から、ハウスなどの農業施設整備に係る補助事業の実施要望が多い。</div> <div>・イマイユ市場の活性化を、流通・加工・販売会社等の民間企業も大きく期待しており、民間資本の加工場建設などの投資も行われている。</div>

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み							
指標A		総合計画		【 土地改良の整備率 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・計画策定時点で予定していた地区の事業採択を早期に進め、令和3年度で目標達成した。 ・令和7年度に新たに1地区の事業採択を目指し、もって整備率の向上を目指す。					
指標B		総合計画（総合戦略）		【 肉用子牛生産頭数 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・現時点で令和7年度の目標値860頭を上回る実績値となっている。 ・今後は現行水準を維持すると見込み、もって目標達成を見込む。					
指標C		総合計画（総合戦略）		【 漁獲量（属地） 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		糸満漁協をはじめ、県漁連、県水産公社、県漁港漁場課、県水産課など関係機関がイマイユ市場の水揚げ増加に向けた取り組みを行っており、これをもって目標達成を見込む。					
指標D		参考		【 観光農園来場者数 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・令和7年度から、新たな指定管理者及び施設使用者による管理運営が行われる予定となっている。今後は、地元農家や企業と連携したイベントの開催等により来場者の増加を見込む。 ・指定管理者と施設使用者の連携により、新たな体験型観光の提供や他企業との連携による沖縄南部観光の魅力を発信し、来場者の増加を見込む。					
指標E				【 】			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標F				【 】			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標G				【 】			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標H				【 】			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	4指標 (100.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	0指標 (0.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）		
評価	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	・農業については、県内有数の規模であるものの、劇的な増加は困難である。 ・イマイユ市場を含む水産業の活性化に向けた第4次糸満市水産業振興基本計画を策定した。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）				
評価	他自治体と比べてかなり高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言え ば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	・農産物直売所の売上は県内1位となっている。 ・糸満市は、令和5年度・令和6年度の県畜産共進会の和牛の団体賞受賞。品質は県内トップクラスとなっている。 ・沖縄県唯一の第三種漁港である糸満漁港は、県内外漁業者の水揚場となっている。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）	
<div>・耕作放棄地は、毎年度、導入したタブレットを活用した利用状況調査及び利用意向調査による把握を行うこととしており、今後調査結果を活用して担い手への農地集積・集約を進めることとしている。</div> <div>・地下ダム受益地再編は、糸満南部地域の同意が進まない地区を整理し、北部地域を含めた受益再編に係る範囲の確定が必要。</div> <div>・沖縄型耐候性園芸施設整備事業（補助事業）を導入し、パイプハウスの整備に取り組んだ。当該事業を活用することにより、台風等気象災害による作物への被害軽減が図られ、経営の安定に資することができる。</div> <div>・イマイユ市場の目標水揚げ高約4,700tに向けて、沖縄県漁港漁場課を事務局に県漁連、県水産公社、糸満漁協、流通加工・販売等の民間事業者、糸満市観光協会、糸満市を会員とした、糸満漁港の海業振興に向けた協議会を立ち上げ、イマイユ市場を核とした海業振興に向けた計画策定に取り組んでいる。また、第4次糸満市水産業基本計画の施策を検討課題として、市の意見として提起している。</div>	

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）	
<div>・地下ダム受益地再編に向けた編入地区の具体化（アクション）</div> <div>・沖縄型耐候性園芸施設整備事業（補助事業）実施の要件が厳しい。また、沖縄県からの事業決定の通知のタイミングが遅いため、翌年度繰越事業になることが多い。</div> <div>・泊漁港に水揚げされているマグロ漁船等の水揚げについて、イマイユ市場への誘致が課題。</div>	

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）	
<div>・地下ダム受益地再編に向けて、国営事業の実施に必要な要素である糸満南部地域の農地基盤整備の実施地区の選定及び農地基盤整備が整った糸満北部及び八重瀬町を含む新規受益範囲の確定に努める。</div> <div>・イマイユ市場の水揚げ増加に向けて、県漁連による漁獲物の水揚げ作業の効率化を図るため、小型固定式クレーン装置の整備を促進する。</div>	